

# サポート内容と利用の流れ

Support details and Usage flow

## サポート内容

Support Details

▶ ARIM事業では設備の利用に関わるサポートに加え、技術相談、共同研究、そして共用設備の利用で創出されるマテリアルデータの利活用まで、様々なサポートがあります。

### 技術相談 | 専門技術でアドバイス

技術的な問題解決に向けて、各ハブ・スポーク機関の技術スタッフが様々な問題に応じます。



### 機器利用 | 利用者自身で操作

設備は利用者自身が操作し、実験します。データの解析や考察も利用者が行います。



### 技術補助 | 技術スタッフが補助

利用者は操作方法などについて、技術スタッフの補助を受けながら設備を使用します。



### 技術代行 | 利用者に代わり操作

依頼に基づきハブ・スポーク機関の技術スタッフが実験・測定・評価・解析を行います。



### 共同研究 | 利用者とハブ・スポーク機関が共同で実施

データの解析や学術的な議論を含めて、利用者とハブ・スポーク機関とが共同で行います。



### データ利用 | 蓄積したデータの利活用

蓄積したデータはデータベースとして用いる他、新たな情報を導き出す活用が可能です。



## 利用の流れ

Usage flow

▶ まずは“お問い合わせ”から。申請は利用する設備を所持する機関にします。課題審査を通ると、利用装置の予約、利用に進みます。利用料金は、ご利用に応じてお支払いいただきます。最後に、利用報告書を提出するまでが、一連の流れです。

### 1 | 利用相談

希望する試料が実験・測定可能かどうか、技術スタッフにお問い合わせください。



### 2 | 申請

申請書を各ハブ・スポーク機関の窓口にご提出いただければ、審査の結果をお知らせします。



### 3 | 予約

ご希望のスケジュールに合わせて予約してください。



### 4 | 設備利用

申請内容に基づいて、設備・機器を利用します。



### 5 | 利用料支払

ご利用に応じて、利用料をお支払いいただきます。



### 6 | 報告

終了後、利用報告書の提出と同意いただいた利用者にはデータの登録をしていただきます。



CONTACT

マテリアル先端リサーチインフラセンターハブ 運営室  
〒305-0047 茨城県つくば市千現1-2-1 国立研究開発法人 物質・材料研究機構 技術開発・共用部門  
URL : <https://nanonet.mext.go.jp/>

